

「生活支援コーディネーター」が地域で活動しています！

本市では、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちづくりを推進するため「地域支え合い推進員」と言われる「生活支援コーディネーター」が、介護予防に関する活動や、地域に不足しているサービスや困りごとを把握して、行政・関係機関へ「つなぐ」などの活動をしています。



【白川地区生活支援コーディネーター】 さいとう ひでと 齋藤 秀人 さん

昨年7月から、民生委員・児童委員やカフェボランティアの協力を得て、「オレンジカフェ」をスタートしました。地域の方や市の専門職の方に講師を依頼し、参加者自身からもアイデアを出してもらい、気軽に楽しく参加できる場づくりを心がけています。今後も公民館と連携し、地域住民が元気になる活動をしていきます。



- 1_ 地元のエコクラフト名人にカゴづくりを教わりました。皆さん大満足です！
- 2_ オレンジカフェの様子。健康推進課管理栄養士より、減塩の効果や取り組みについて講話をいただきました



【福岡深谷地区生活支援コーディネーター】 あひこ ようこ 安彦 洋子 さん

4月から、民生委員・児童委員の協力のもと「オレンジカフェ」をスタートしました。普段なかなか会えない皆さんの「つながる場」として力を入れていきたいです。また、多世代の皆さんとの交流も考えています。他にも「コミュニケーションマーじゃん」の開催や情報誌を作成して、地域の活動や魅力的な情報を発信しています。



- 1_ 月1回のコミュニケーションマーじゃん。皆さん真剣な表情です
- 2_ オレンジカフェの様子。ゲームをしながら楽しく脳トレをして盛り上がっています

支え合いながらいつまでも暮らせるまちへ



～白川地区・福岡深谷地区編～

☎長寿課 ☎22-1361
☎地域包括支援センター ☎22-1466

第7期計画期間中の介護給付費の推移は、給付費全体としては増加傾向が続いています。令和3年度以降の推計では、居宅サービスと地域密着型サービスにおいて増加を見込みますが、施設サービスは第8期計画期間内で近隣の施設整備を想定しないものとし、給付費全体としてもやや増加する見込みとなっています(図1)。

図1 介護給付費の実績・推計

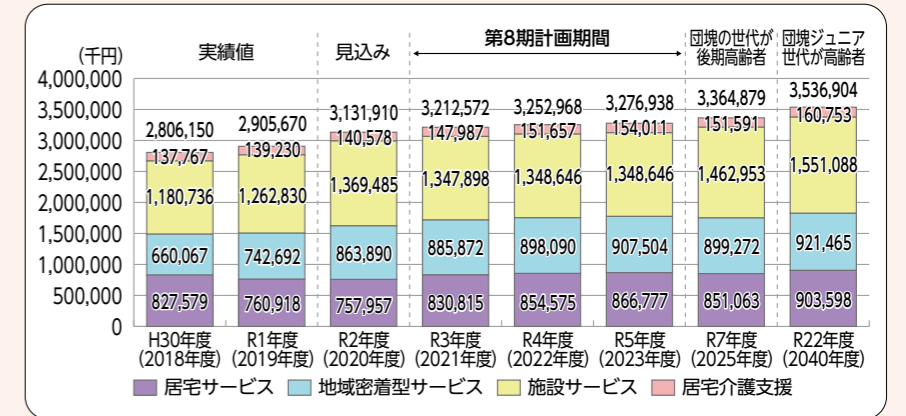
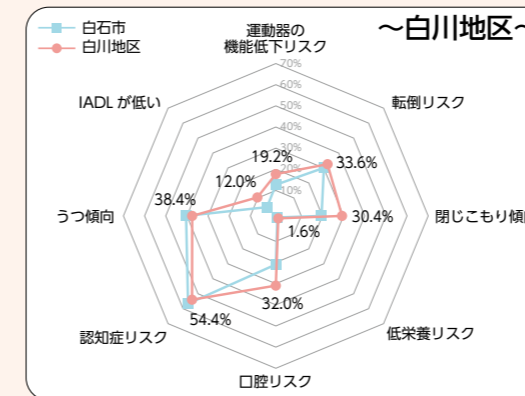


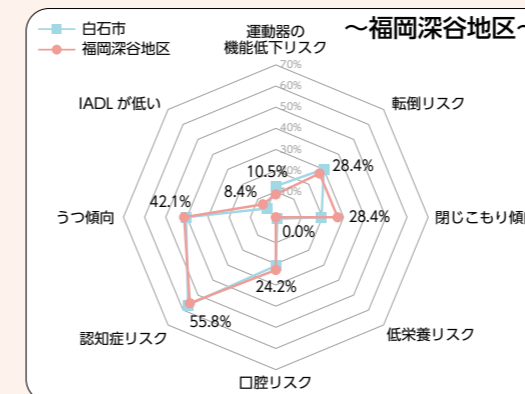
図2は「第8期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査」の結果を基に、要介護リスク8項目を分析したものです。今号では、白川地区と福岡深谷地区の要介護リスクの傾向について紹介します。

図2 運動器機能等リスク判定



リスク判定では、「運動器の機能低下リスク」「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「口腔リスク」「IADLが低い」で高くなっています。

なお、白川地区の高齢者人口は、639人(令和2年3月末現在)で市全体の5.4%となっています。高齢化率は、市全体より高い43.0%となっています。



リスク判定では、「閉じこもり傾向」「IADLが低い」は市全体と比べて高くなっています。「運動器の機能低下リスク」「転倒リスク」は低い割合となっています。

なお、福岡深谷地区の高齢者人口は、571人(令和2年3月末現在)で市全体の4.9%となっています。高齢化率は、市全体とほぼ同じ35.4%となっています。



※ IADL：複雑な動作と判断が求められる動作(例：買い物や洗濯など)

地域包括支援センターからのお知らせ

社会的フレイル(虚弱)を防ぎましょう！

今日、用がある(きょうよう)ことや、今日、行くところがある(きょういく)ことは、健康長寿の秘訣です。週1回以上の外出・交流・活動を意識しましょう。

「いきいき百歳体操体験教室」を開催します。体操を通して、フレイル(虚弱)を予防しましょう。

- 開催日 9月2・9・16・30日・10月7・14・21・28日(いずれも木曜日)
- 時間 10:00～11:30(受付9:30～)
- 場所 介護予防センター
- ※参加を希望する方は、事前に地域包括支援センターへご連絡ください。

